

## 第2次江田島市総合計画審議会（第5回）議事録

開催日時	平成26年4月24日（木）午後2時5分～3時30分
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>木村 洋 広島県地域力創造課 課長          樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員（審議会副会長）          小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長          富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表          大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事          村上 浩司 江田島市農業委員会 委員          伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長          中谷 隆 県立広島大学 教授（審議会会長）</p> <p>■江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長          山本 修司 企画部 部長</p> <p>【事務局：企画部企画振興課】</p> <p>畑河内 真 企画振興課 課長          道本 浩二 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社地域計画工房】</p> <p>山下 和也          増村 嘉大</p>
欠席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長          前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長          青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長          久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長          宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長          フンク カロリン 広島大学 准教授</p>
傍聴者	1人
会議次第 及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会          2 会長あいさつ          3 協議事項          （1）基本構想について【資料1-1, 1-2】          （2）市民ワークショップについて【資料2】          （3）市民満足度アンケートについて【資料3】          （4）今後のスケジュールについて【資料4-1, 4-2】</p> <p>4 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1-1：第2次江田島市総合計画～基本構想～          資料1-2：第2次江田島市総合計画～基本構想～【要約版】          資料2：総合計画市民ワークショップについて          資料3：市民満足度調査アンケートについて          資料4-1：平成26年度総合計画策定予定          資料4-2：第2次江田島市総合計画策定スケジュール</p>

会 議 記 録	
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>本日は、お忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局からお知らせします。 本日の会議資料について、ご確認くださいませようお願いします。 資料は、次第、委員名簿、資料1-1から資料4-2までございます。また、参考資料としまして、第4回審議会の議事録をつけております。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>審議会の委員の変更がございますので、ご紹介します。 広島県において組織変更と人事異動がありましたので、昨年度まで広島県過疎地域振興課の城田委員に参加していただいておりますが、この度、広島県地域力創造課 課長の木村 洋氏が委員とられました。 ご挨拶を頂ければと思います。</p>
委員	<p><b>新委員 あいさつ</b></p> <p>初めまして、木村と申します。 ご紹介いただきましたように、地域力創造課という課がこの4月に設立されました。県庁における機構改革の中で唯一の新設課となっております、少しプレッシャーを感じつつも頑張りたいと思っています。 私は、江田島には来させていただいたことはありますが、正直に言いまして詳しく江田島を存じ上げている状況ではありませんので、今後、発言する中で分かってない人が何を言っているのかという部分もあるかも知れません。 県庁の中では、県の総合計画の策定や、その計画を点検して管理していくPDCAの仕組み作りなどを行って参りましたので、力不足かも知れませんが、そういった事をこの場で活かして行けたら、皆さまのお役に立てるのかなと感じております。 どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議も、これまでの会議と同様に議事録を作成いたしますので、録音をさせていただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会の第5回を開催いたします。 審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、中谷会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p><b>2 会長あいさつ</b></p> <p>引き続きお世話になります、県立広島大学の中谷です。 今回から、県より新しいメンバーが加わりました。 木村委員には、少し大局的な視点からアドバイスを頂けたらと思います。 今日は残念ながら、出席できない委員の方が多くなっております。非常に忙しい時期でもあります。 前回、おかげさまで中間答申を田中市長にすることができました。 これからは、後から説明があります今後10年の基本計画、5年の実施計画を審議していくこととなりますので、引き続きご協力をいただきたくお願いいたします。</p>

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議には14名中、出席者は8名、欠席者は6名となっています。よって、江田島市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がありますので、会議成立の定数に達していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、欠席者は江田島市女性会連合会 藤田委員、江田島市老人クラブ連合会 前田委員、安芸地区医師会江田島ブロック 青木委員、江田島市漁業振興協議会 久保河内委員、江田島市商工会 宇根川委員、学識経験者 広島大学 フンク委員の6名です。</p> <p>それでは審議会条例第7条3項に会長は会議の議長となるとありますので、ここからの進行は会長へお願いします。</p>
会長	<p><b>3 協議事項</b></p> <p>それでは、早速でございますが、協議事項に入りたいと思います。</p> <p>次第にありますように、3（1）で基本構想についてです。</p> <p>この件に関して事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>（1）基本構想について【資料1-1, 1-2】</b></p> <p>それでは基本構想について、ご説明いたします。</p> <p>総合計画の基本構想については、昨年度中に4回の審議会でご議論いただき、平成26年の1月に中間答申という形で頂いたところです。答申を受けまして、平成26年2月26日の定例議会において議決をいただいたという状況です。</p> <p>それでは、資料1-1と資料1-2をご覧ください。</p> <p>（「基本構想について」説明）</p> <p>※内容は資料1-1, 1-2のとおり</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料1-1, 1-2ですが、よりわかりやすい図をとということで要約版を直されていますが、樋上副会長いかがでしょうか。</p>
委員	<p>色々修正して欲しいと言った責任もありますので、よく見させていただきました。</p> <p>すっきりした感じで、良いのではないかなと思います。</p> <p>1つ言いますと、以前も言いましたように、市民満足度の高いまちづくりと未来を切り開くまちづくりがぱっと見て分かるようになっていけば良いので、その大きい文字の横にある括弧内、「市民重要度・満足度をもとに」という部分は不要なのではないかと思えます。</p> <p>基本構想の12ページにも記載していないので、そろえたら良いのではと思います。</p> <p>広島湾地域の発展に貢献する『海生交流都市』というのは24ページで未来を切り開くまちづくりの方向性として継承していくとありますが、全体として継承していく事項ではないかと思えますので、10年前の理念を受けて2本軸があるという方がわかりやすいのではないかと思えます。</p> <p>『海生交流都市』は前回から受け継いでいるというのがわからない気がするので、考えていただければと思います。</p>
会長	<p>『海生交流都市』を土台にして、そこから2つ矢印なりで繋がっていくというイメージでしょうか。</p>
委員	<p>自分でも考えてみたのですが、矢印だとちょっと違うかなと思いますが、10年前の理念を受けて、2つのまちづくりがあり、それらが恵み多き島になっていくというイメージができればと思います。</p> <p>お示しいただいた要約版も非常にすっきりして、読みやすいので、できるだけ要らないことは省いていただきたいと思えます。</p>

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

事務局	ご指摘いただいたとおり、『海生交流都市』は片方の柱のみに係るものではありませんので、工夫を考えてみたいと思います。
会長	市民満足度の高いまちづくりと未来を切り開くまちづくりは、2本柱が強調されており以前よりもわかりやすくなったのではないかと思います。 他の委員さんはどうでしょうか。 市民の方々に、一目でイメージを掴んでいただくというのが一番良いと思いますので、そういう意味では図というのは大事なことでございます。 図に関しては、変更をご了解頂くとすることではいかがでしょうか。
委員	この要約版の使い道は、どのような事を考えておられるのでしょうか。 紙面としては配布等する予定はなく、あくまでも基本構想の付属資料という扱いになるのでしょうか。
事務局	市のホームページへの掲載は考えております。 市民の方にご説明する機会に、この要約版を用いて行こうと考えており、市民の方にわかりやすくと方向で構成しています。 全戸配布については、検討させていただければと思います。
事務局	総合計画は市の最上位の計画になりますので、当然市民の皆さまにご説明する機会というのが様々な場面で設ける必要があるかと思います。 要約版については、副会長のご意見を取り入れながらよりわかりやすい形に加工して、平成24年度から取り組んでいます出前講座など色々な場面において、成案ができたところで、2本柱で頑張っていくところをご説明して行きたいと考えています。
会長	説明資料として、今後世に出て行きますので、審議会で認めた物を用いていただきたいので、内容にこだわっても良いのかなと思っています。
委員	要約版ということで説明し、これが総合計画だということになるとすれば、わかりやすくすべきだとは思いますが、必要な部分は記載しないとイケないかなと思います。 絵だけ描いたのでは分からない部分もあるので、その辺の兼ね合いを検討していただければと思います。
会長	市民の方に説明するときには、1枚物の要約版だけで説明するわけではなく、補助資料を提示しながら、あるいは配布してということになるのではないかと思います。
委員	確認という意味も込めてお伺いしたいと思います。 見させていただいた感じでは、市民満足度の高いまちづくりはタテ串といいますか、行政の組織において力を入れていく部分を記載していて、一方で未来を切り開くまちづくりは横断的とかいてありますが、組織にヨコ串を刺して進めていくという書きぶりかと思えます。 私のイメージとしては、各部局でそれぞれやるのだけれども、ヨコ串を刺してプロジェクト的に取り組まれるのが未来を切り開くまちづくりということかなと思いました。 それでいいますと、従来から使われていました『海生交流都市』というものが、新しく重点施策のキャッチフレーズという形になったという考え方でよいのでしょうか。 そうすると、市民満足度と未来を切り開くがタテとヨコで交わるというようなイメージがもっと出てくると市民の方にもわかりやすいのかなと思いました。 未来を切り開くまちづくりは経済活動を作り出すということになりますので、分野としては産業や観光、あるいは景観も絡むので生活環境もあるかも知れませんが、そういうタテとヨコというところがわかってきて、力を入れるのがこういう事だと言うのがわかると皆さんも右と左の関係が分かるのかなと思いました。
委員	『海生交流都市』は今までも使ってきましたから、サブになったのではどうなのだろうとは思いますが。 木村委員の言われたように、クロスするという形だとその辺りも考えていただければと思います。
事務局	ご指摘のように『海生交流都市』は土台としてあるものかと思えます。 未来を切り開くまちづくりは個別施策と言うよりはプロジェクト的なものになりますので、どういう見せ方ができるかは検討させていただければと思います。

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

会長	資料1-2に関しては継続ということで、検討させていただければと思います。 良い物ができればいいと思いますので、大変でしょうがブラッシュアップして頂ければと思います。 中間答申した基本構想の方は手を加えることはできませんが、資料1-2は継続して作っていただきたいと思います。  協議事項3（1）については以上と言うことで、次の（2）市民ワークショップについて事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>（2）市民ワークショップについて【資料2】</b> それでは資料2をご覧ください。 （「市民ワークショップについて」説明）  ※内容は資料2のとおり
会長	ありがとうございました。 昨年度も行いましたが、市民ワークショップを今回も開催したいと言うことで、今回の違う部分はテーマが非常に絞られているということです。 市民満足度の高いまちづくり、未来を切り開くまちづくりそれぞれの部門で集中的に意見を出し合っていたとということです。 いかがでしょうか、自由にご意見を頂ければと思います。
委員	アンケートは2,000人の16歳以上ですが、ワークショップはダイレクトメールを出しているのが20代と30代、それにホームページや広報ということです。ダイレクトメールは声かけということかと思います。大柿高校の生徒が16歳からだと思しますので、ダイレクトメールも16歳以上にさせていただければ、大柿高校だけではなく他の高校に行っている子、関心のある高校生世代の参加もできるのかなと思います。大柿高校に通っていない高校生は参加資格がないということになりますので、できれば検討していただければと思います。
事務局	7月分については、16歳以上からで対応を検討したいと思います。
会長	大柿高校以外で、江田島出身の方が行っている大学とか高校は把握できているのでしょうか。個人情報絡んできますので、把握は出来にくいかと思いますが、 どういう形で若い方を集めてくるのか、良い方法がないでしょうか。
事務局	どこの学校に通っているかというのとは分かりませんが、無作為で16歳以上の方を対象にし、大柿高校の方も含まれるかも知れませんが、ダイレクトメールを送らせていただくように検討したいと思います。
会長	500名の16歳以上の市民に、無作為でダイレクトメールを送付するという形で、検討していただければと思います。 7月分は声かけがまだかと思いますが、5月分はどのような状況でしょうか。
事務局	5月分はまだ声かけの最中ですが、参加で返事を頂けているのが15名で、そのうち6名が30代の方となっています。
会長	参加していただいたときに、何か景品とかおみやげのような物は出せないのでしょうか。簡単な物でも良いと思いますが、オープンキャンパスなどでも文具を差し上げるとそれだけでも喜ばれたりします。袋などあまり高額でない物を手配出来れば次に繋がる可能性もあるかと思います。 参加者の名簿を作成しておいて、今後何かあったときにはお願いしますという形でおみやげをお渡しできれば、次も参加しやすくなるのではと思いますので、検討していただければと思います。
事務局	予算的な事もありますので、景品等は検討させていただければと思います。
会長	高額だと逆効果になりますので、やる場合は注意が必要かと思いますが。 ワークショップも2時間半と長丁場ですので、大変だろうと思います。特に市民満足度の方は7部門あり、それぞれでまとめまで持って行くのはしんどい部分もあるかと思います。

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

委員	<p>参加しようという方は、色々と考えておられて、分野別の方も考える余地はたくさんありますので20分はすぐじゃないかなとも思います。</p> <p>おみやげという話であれば、オリーブなどがあればアピールにもなるかと思えます。</p>
会長	<p>大柿高校の存続のことなどについても、前回から意見が出ています。今後江田島に中高の新しい教育体制が出来たらなどの意見もありました。</p> <p>江田島の立地は良いところだと思いますし、特徴のある学校があれば江田島から出ないとか、外から来るとかありますので、そういう呼び込み型もあって良いのではないかと思います。</p> <p>出来るだけ若い方の意見がこのワークショップに反映されてくれば、具体的な計画も立てやすくなるのではないかと思います。</p> <p>ワークショップについては以上でよろしいでしょうか。</p> <p>続いて3（3）市民満足度アンケートについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>（3）市民満足度アンケートについて【資料3】</b></p> <p>それでは資料3をご覧ください。</p> <p>（「市民満足度アンケートについて」説明）</p> <p>※内容は資料3のとおり</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今説明がありましたように、昨年度実施分と言う資料の18頁以降は省いてスリムな形となっています。</p> <p>今後、毎年度継続してデータを集計していくということですので、項目は変更ができません。この項目で毎年度の変化を確認しながら、施策との関係をチェックしていくということになるかと思えます。</p> <p>今回、新しく参考と言うことで下段に取組を入れ込んだと言うことです。</p> <p>実際に皆さんがアンケートに答える側として意見を頂ければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>子どもたちの現状でどうしたいのかという気持ちを知るためには、非常に良い資料ではないかと思えます。</p> <p>高校生などが、こういうアンケートを受けるのは初めてではないかと思えます。</p> <p>江田島市は私たちの意見を聞きたいと言う風になり、江田島を見る目も違ってくるのではないかと思えます。</p>
会長	<p>私も、このアンケートを提示されたときに良いアイデアだなと思いました。意外と自分たちの住んでいる市がどういう事を行っているか知らないことが多いと思えます。</p> <p>このような事業をやっていますよと言うアピールになりますし、回答者目線で言えば参考をまず読んで、「あ、こういう事で重要度と満足度をチェックすればいいんだな」というヒントにもなるように思えます。</p> <p>富田委員はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>書きやすいし見やすく良いかなと思いました。</p> <p>下部の取組は知らないこともあると思えますので、こういう事を行っているんだということを、年配の方も気づいてもらえるのではないかと思えます。</p>
会長	<p>このような形でアンケートを実施していただけたら良いかと思えます。</p> <p>他に細かいことでもありましたら、よろしく願います。</p>
委員	<p>質問ですが、80点とか70点というのはどういう形で算出されるのでしょうか。</p>

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

事務局	<p>資料3の3頁をご覧頂けますでしょうか。青のラインが重要度になっており、赤が満足度になっています。赤いラインについてのご質問かと思いますが、各項目についてとても満足からとても不満までの5ランクで評価していただきます。とても満足に当たる5をマークしていただけたら100点を与え、とても不満であれば20点になります。低い方から20点、40点、60点、80点、100点と配点し、それを全体で集計すると言うことになります。</p> <p>概ね60点くらいになれば合格点に近いかということで捉えさせていただこうと思っております。</p>
委員	<p>概ね満足と満足の間くらいが皆さんの回答になれば、だいたい60~70点になるということで、了解しました。</p> <p>最初に基本構想を拝見したときに、目標値に市民満足度を掲げられているのはすごいなと思いました。意気込みをすごく感じて、良いなと思ったのですが、ここに掲げると言うことは、市民の方々に満足度を達成することを目指してやると宣言されたということになります。</p> <p>行政の側も、審議委員会の皆さんもある程度責任を負うのかなと思います。そうしたときに、市民が求められている青いラインと現状で認識されている赤いラインのギャップが何で生じているのかわからないと、施策を行う上でも難しいのかなと思うのが正直なところです。</p> <p>本文を見させていただくと、住民に対して施策のPRというか、理解を頂いてない部分で低いところがあるかも知れないという部分もあると思います。</p> <p>どういう事をやっても、きちんとPRされるということが非常に大事だなと思います。それをやられた上で、なぜギャップが生じているのか、ここをどうやって把握していくのかというところを少し考えていただけたら、すごく良いなと思いました。</p> <p>2,000人が対象ですので、全ての方にどうしてそう感じたのかを聞くのは難しいと思いますが、抽出という形でも構わないと思いますので、具体的にあなたが評価した理由はなんですかということ聞き、少しでもそういう情報が集まれば、何をすることで改善できるのか、施策のPRが出来ていないだけであれば、やっていますよと言うことに力を入れればよいし、本当に出来ていなければ資源を投入してやっていくということも出てくるかと思えます。</p> <p>難しいかとは思いますが、そういう取組もアンケートの後で出来ればと思いました。</p>
委員	<p>指摘いただいた内容は、昨年度にも指摘をいただいています。</p> <p>やはり、こういうアンケートをした場合に、乖離状態の内容をもっと分析すべきだということはおっしゃられて、パブリックコメント等で吸い上げようという事になっています。</p> <p>いかんせん、住民の方々の意識がそこまで行っていない部分もあり、パブリックコメントもなかなか意見が出ていないところです。</p> <p>江田島市をなんとかしたいという思いがある人に集まっていただき、語って頂くというのもよくある方法です。そういう気概のある方が居れば、語っていただきどんな施策を打てるのか、不満なのか出していただくということもあるかと思えます。</p> <p>パブリックコメントだけで吸い上げると言うよりは、そういった別の形も考えていただけたらどうかと思えます。</p>
事務局	<p>前回のアンケート結果に基づいて基本構想を作成しておりますので、それをういながらワークショップなどでヒアリングなどを行うという手法もあるかと思えますので、政策ギャップを埋める大変いい意見を頂けたと思えますので、事務局で検討させていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>出来るだけ生の声で吸い上げていただくと言うことで、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>5月のワークショップの参加依頼は配布済みと言うことですが、参加される方はわかっているのですが、このアンケートが資料としてあると、事前に考えて頂けるかと思えます。7部門の観点に沿ってワークショップをするので、自分はこう評価したけど、こう思うという発表もできると思えますので、盛り上がるんじゃないかなと思いますので、参加される方が前もって考えられるようにされてはどうかと思えます。</p>

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

事務局	いいご意見を頂きましたので、検討させていただきたいと思います。
会長	事前にチェックしていただいて、それを持ち寄りながらワークショップで意見を出し合う形もあるかと思います。 アンケートを発送・回収はいつ頃の予定でしょうか。
事務局	発送は5月中、回収は2週間程度の期間を予定しています。
会長	この審議会で、了承いただけたら印刷と配布と言うことに繋がっていきます。 市民満足度アンケートについてはよろしいでしょうか。 それでは、委員のみなさまもお知り合いの方にアンケートを出すようにと声を掛けていただければと思います。 毎年度やられるということですので、その結果をみながら審議していきたいと思います。  それでは、協議事項の4で今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>（4）今後のスケジュールについて【資料4-1, 4-2】</b> それでは資料4-1と資料4-2をご覧ください。 （「今後のスケジュールについて」説明）  ※内容は資料4-1, 4-2のとおり
会長	ありがとうございました。 皆さんお忙しい中、今日を入れて6回行うということ。非常に大事なのが、9月、11月の案作りでございます。これに向けて、審議会を開催させていただきたいと思いません。 審議会の運営上のあり方というのも、先ほども出てきましたけれども、住民のお話を聞きたいとかあれば、途中でやり方が変わるかもしれませんし、そうではない別のやり方もあるかもしれません。 絵画コンクールやパブリックコメントは、前回同様に行うという提案でございました。これらについて、何かご意見はありませんでしょうか。
委員	老婆心ですが、小学校、中学校への作品募集をもうお願いされているのかわかりませんが早めにしていただくということ。また、市制10周年の絡みもあるでしょうし、総合計画のことも含めて、子どもたちがしっかりと意味を把握できるような資料、企画目標を、まず校長先生たちにしっかりと伝えていただきたいし、これをきっかけに江田島市のことを考えられるような、描かされるというのではなく楽しんで描けるようにするためには、それだけの前準備やアピールが必要だと思います。 7月、8月で夏休みに描いて来てくださいという形になると、良い絵が出てこないで、本当にそれなりのことを校長会等でアピールしていただいて、本気で市のことを考えてくれるような働きかけをしていただかないと良い作品が出てこないと思います。今は描く時間、絵画の時間が少ないので。 早め早めにして、学校が計画を立てやすい形でやっていただきたいなと思います。
事務局	教育委員会とは、まだ正式な詰め部分は出来ていませんので、早めに相談するようにし、なぜこういう事を行っているのかと、楽しい将来を描いてくださいという趣旨的なところをしっかりと説明した上で、生徒が夢を描きながら良い作品が出るように、相談しながらやっていきたいと思いません。
会長	経験から言うと、非常に忙しいスケジュール、カリキュラムの中で授業を展開しておられます。その中の科目の一つに地元を知ろうという類の時間があるはずなので、教育委員会と相談してそういう時間割を把握し、それとの連動で絵を描いて貰うということになると、子どもたちもイメージが付きやすく、描きやすくなるのではないかと思います。授業の中身に関係することなので、相談しながら仕掛けをした方が良さそうな気がします。いきなり描けと言われても、近所の絵を描くだけになりがちなので、少し誘導しておいて描いて貰うのが良さそうに感じました。



【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

委員	<p>今までの協議の中でも考えていたのですが、ワークショップやアンケートは全て16歳以上になっています。手続きや時間の問題もあると思いますが、設問自体は小中学生に相応しいものもあります。この審議会でするのが良いのかは迷いますが、16歳以下の小中学生の純粋な、江田島市に対しての思いを知りたいなと思いました。</p> <p>アンケートは継続性というのも大事だと思います。</p> <p>小学生とは時々話すことがありますが、すごく純粋ではっきりと言います。我々の世代になると、思ってもなかなか言えないことを言ってくれることもありますので、可能なら小中学生へのアンケートでも聞けたらなと思いました。</p>
会長	<p>絵画コンクールで入賞した人に、自分の絵を説明して貰うということを行おうと予定しています。ただ絵を表彰するだけではなく、どういうイメージで絵を描いたのか、口頭で語ってもらおうということで、前の審議会に決まりましたので、絵画コンクールのやり方を考えていければと思います。</p> <p>小中学生にアンケートはちょっと難しいかなと思います。誘導される部分が多いので、16歳以上の人が出すものとは違ってきますので、生の声で語って貰う、しゃべっていただくのが一番良いかなと思います。</p> <p>教育委員会も、行政からの提案に抵抗するということは少し薄まり、かなり協力的になっているのではないかなと思いますので、しっかり相談して協力していただくという形で1時間でも2時間でも授業の中で扱っていただければと思います。</p>
事務局	<p>審議会から、そういったご意見があったという風にはお伝えしたいと思います。</p>
会長	<p>審議会からの要望と言うことで事務局にお渡ししますので、ぜひ実施していただければと思います。</p>
委員	<p>毎年、市美術展で子どもの作品を展示していますが、市制10周年と関連があるならば、それ一色の市美術展になり、その中で発表できたら面白いかなと思いました。</p> <p>市美術展そのものが、マンネリ化しつつあり参加者が減っていて生涯学習課も頭を悩ませておられます。</p> <p>市制10周年という節目でもありますので、子どものまちへの愛着心を育てるため、先生たちにも少し考えていただける方向で話をいただければなと思いました。</p>
会長	<p>古い世代では、地元のことを知ろうという授業のようなことがあったかと思いますがどうでしょうか。</p>
委員	<p>年に1回、10月頃に修学旅行のような形ですが、3年生、4年生は江田島市内の施設を回るということをしています。保護者からブーイングのような事も出たりもしますが、市の施設を見るということがあります。そういうのを見て回るだけで、日記のようなことは書いていますが、学校内行事で終わっているという形です。</p> <p>絵画コンクールに関しては、夏休みの宿題のような形で出てくるのかなと思って聞いていましたが、いつも子どもが聞いてくるのが、どういう事を描けば良いのかと言います。こういう事を描くのだというテーマが親も分からず、適当に描かせる事も多いようです。</p> <p>先日、5年生の参観日で牡蠣の作り方を勉強してきて、海の牡蠣いかだを見ながら「こういう事をしているんだよ」と話すような勉強をしています。アンケートは難しいかと思いますが、子どもたちの意見は授業の中で出てきているので、もう少し詳しいテーマがあれば良いのではないかなと思います。</p>
会長	<p>そういった取組がまだ残っているのは良いことで、今は学校の中だけで解決しがちになります。意外と自分の地元を知るための時間が少ない学校が非常に多いですから、是非継続していただきたいと思います。</p>
委員	<p>学校でも、そういった取組は短く1学期の数時間かも知れませんが、学校としては地域と交流するというのが校長先生から話が出ており、地域の先輩という形で交流を持つように考えているようです。</p>

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

会長	<p>大学生を相手にして、出身地はどこかと聞いて、出身地がどんなところか尋ねても、言えない人が多くなっています。そうすると、そこで交流がとまってしまいます。</p> <p>自分の郷土を知ると言うことは、大人になってからも人間関係を作るのに、最初のスターターになります。それを知らないと言うことになると、それだけ損をしていることにもなりますので、是非地元のことなどは小学校の頃から教えていければ良いのではないかと思いますので、この機会を利用していただければと思います。</p>
事務局	<p>夏休みの宿題になってしまうと、良い結果が出ない状況です。先ほどもありましたように、親に何を描けばいいのかと聞いて深く考えることをせず、作品をみても親の意見を聞いたかなと感じる作品が市美術展でもよく出されており、そこは少し気になっている部分です。</p> <p>教育委員会がどういう反応をするかわかりませんが、授業カリキュラムの中に、合併して10年目で一つの節目としてそういう時間を取っていただき、絵を描いていただくと。子どもは未来を生きるもので、教育委員会から学校に対して指導していただくかどうか検討は必要かもしれません。学校の都合もあり、カリキュラムの編成は校長の権限ですので、理解を得ない限りはできませんが、そういう思いはあります。</p> <p>夏休みに絵を描いて下さいでは、江田島市を本気で考えるきっかけにはならないと思いますので。</p>
委員	<p>夏休みの宿題になるというのは、夏休みに同様の物が集中しており、人権のポスターや交通安全、防犯の習字など他にもあります。</p>
事務局	<p>任せておけばいいのではなく、今までお話にもあったように、少し教育活動の中に位置づける形になれば。新しいまちになり10周年であり、4町の壁をどのように壊して一体感のある市を作り上げていくかというのが課題になっていますので。</p> <p>今の子どもたちが大きくなったときには、この4町の壁が破られていけばなど期待をしていますので、そういう機会があればいいなという思いは持っています。</p>
委員	<p>テーマに関連して、私が今の仕事で定住対策をやっています、その中で江田島市は熱心に取り組まされていて、勉強させていただきたいなと思うところです。</p> <p>定住の仕事をしていく上で、市町の方々がどういう話をしているかという、今は地域間の競争となっていて、よそから来られるにしてもこの町だったらこうだというしっかりしたものがないと、同じような所では来ないようです。江田島市だったら、島で不便ではあるけれどもこういうところが素晴らしい、というのを市町毎に作っていかないと、都会から人を連れてこようとしています、広島に関心があっても江田島市には目が向かないことになっていきます。</p> <p>構想を見たときに、すごいと思ったのは、住んでいる人が江田島の暮らしにすごく満足されていて、それは住んでいらっしゃる方がそれぞれの中に江田島の良いところをお持ちなのだろうと思います。ただ、何かといわれるとニュアンスが難しく出てこない。そういう事もありますので、もし子どもに未来のことを考える時間を作れるのであれば、1つのテーマとして「私の一番好きな江田島」のように、何が一番江田島市の宝なのかを早い段階で考える機会があれば、大人になって市外に出られても江田島は良いところなのでという事に繋がっていくと思います。</p>
会長	<p>今までの話を聞いていますと、教育委員会と相談していただき、是非、子どもが小学生の頃から郷土のこと、自慢できることをイメージ出来るようにしていただきたいと思います。</p> <p>これを審議会の要望としてお伝えしていただき、実現していただければと思います。</p>
事務局	<p>前回の絵を見ると、夢のような絵、将来どのような江田島になって欲しいかが多かったので、おそらく「将来の江田島」というテーマで描いていただいたのかと思います。</p> <p>広島県の「おいしい！」もあります、江田島に埋もれている良さが分からない状況です。民泊でたくさんの中高生が江田島を訪れていて、今年も約二千人来られますが、江田島の良さはしっかりと受け止めて帰られます。</p> <p>自分の住んでいるところで、自慢できるところを本気で絵を描いていただければ、プラスになっていくと思います。</p>

【平成26年4月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第5回）要点録】

委員	<p>県からもここ2～3年は、我が町の自慢というような形で依頼はあり、文章にもしていて毎年冊子になっていますが、それではあまり夢がないので、夢も加えたもの、発展したものにしたいなと思います。</p>
会長	<p>各委員の言われるとおりで、子どもが自分の郷土に自慢を持っている人は落ち着いていて、前向きです。私も学生と付き合いをしていて、まず聞くのが自分の郷里を自慢してもらおうと、言える子と言えない子がいます。その時は言えない子をケアするようにしています。</p> <p>私たちも何か辛いことがあれば郷里を思い出したりしますので、そういうものを持っている人は前向きで、未来志向かなと思います。</p> <p>それでは、資料4-1、4-2について、絵画コンクールなどクローズアップされてきましたが、事務局には出された意見をくみ取っていただき、教育委員会と相談し実りあるやり方にしていただければと思います。</p> <p>これで、協議事項は終了しましたが、皆さまから今後のご要望などその他ありませんでしょうか。</p> <p>前回の審議会でも言いましたが、各委員非常に忙しく、日程を合わせるのが大変であります。個人の都合で火曜日から木曜日なら都合が付くのですが、木曜日はどうでしょうか。</p>
委員	<p>個人的には、木曜日は学校の役員を頂いていたりするので、火曜日、水曜日なら。出来るだけ早く、日程を決めていただければと思います。</p>
会長	<p>皆さまのご都合を聞くのは、火曜から木曜で調整させていただき、曜日を固定してしまうと参加できない方もいるかと思っておりますので、ずらしながらたくさん委員が参加できるようにしたいと思いますので、よろしいでしょうか。</p> <p>日程に関しては、火曜から木曜日で、事務局にはお願いしたいと思っております。</p>
会長	<p><b>4 閉会</b></p> <p>それでは第5回の審議会は終わりたいと思っております。ありがとうございました。</p>